

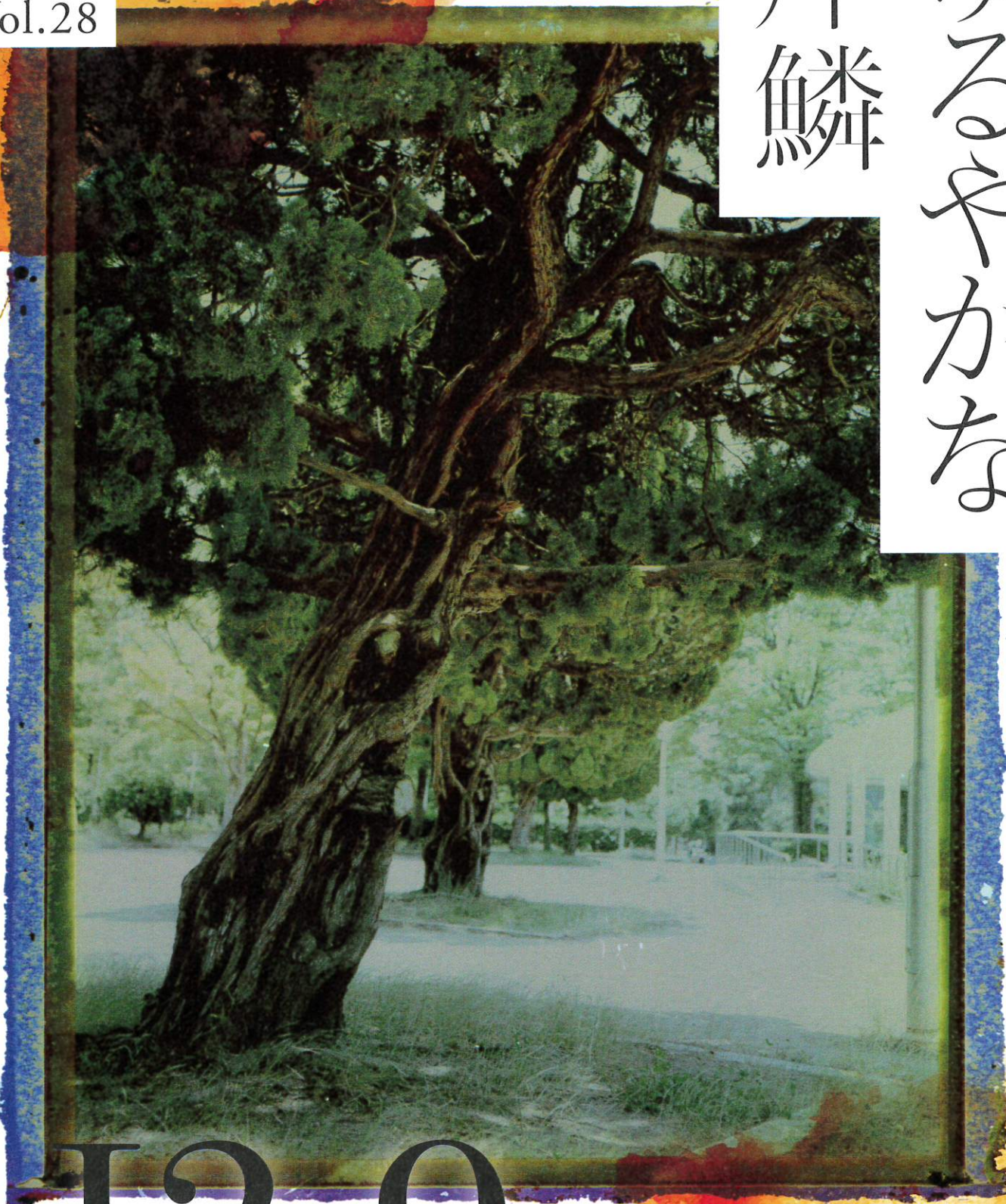
センチュリー

豊中名曲シリーズ

Vol.28

ゆるやかな
片鱗

Century Toyonaka Meikyoku Series Vol.28



2023

12.9 | 土 |

15:00 開演 | 14:15 開場

豊中市立文化芸術センター 大ホール

センチユリー豊中名曲シリーズ Vol.28

ゆるやかな
片鱗

Tetsuro Ban

指揮

阪哲朗

Tetsuro Ban / Conductor



ピアノ

菊池洋子

Yoko Kikuchi / Piano

©Yuji Hori

Program

シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 作品54

R. Schumann: Concerto for Piano and Orchestra in A minor, Op. 54

ブラームス：交響曲 第1番 ハ短調 作品68

J. Brahms: Symphony No. 1 in C minor, Op. 68

Yoko Kikuchi

人が変化を受け入れる心理の各段階になぞらえた4つのコンサートを、
物語とともに展開する今年度のセンチュリー豊中名曲シリーズ。3回目は「ゆるやかな片鱗」。
シューマンの唯一の完成されたピアノ協奏曲と、ブラームスの最初の交響曲、2つの名曲を奏でます。
思い巡る心に、いずれ来る変化の気配。五感を刺激する名曲の世界をお届けします。



阪
哲
朗
指揮

京都市立芸術大学作曲専修で廣瀬量平氏らに師事。卒業後に渡欧。ウィーン国立音大指揮科でK.エステルライヒャー、湯浅勇治氏らに師事。在学中よりビール歌劇場専属指揮者を務める。これまでにブランデンブルク歌劇場第一指揮者、コミッシュオーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場並びにレーゲンスブルク歌劇場で音楽総監督を歴任。ソフィア歌劇場、ウィーン・フォルクスオーパー、グラーツ歌劇場、バーゼル歌劇場、シュトゥットガルト歌劇場など約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を収めている。日本においては、NHK交響楽団をはじめとする主要オーケストラ、新国立劇場、二期会などのオペラ団体を指揮している。

現在、山形交響楽団常任指揮者、びわ湖ホール芸術監督、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。国立音楽大学、東京芸術大学、山形大学などより招聘教授として招かれるなど、後進の指導にも力を注いでいる。

第44回ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、ABC国際音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、京都府文化功労賞など受賞多数。

2002年第8回モーツァルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝、一躍注目を集めた。その後、ザルツブルク音楽祭に出演するなど国内外で活発に活動を展開し、いまや実力・人気ともに日本を代表するピアニストの一人である。前橋市生まれ。故田中希代子、故林秀光の各氏に師事。桐朋学園女子高等学校音楽科卒業後、イタリアのイモラ音楽院に留学、フランコ・スカラ、フォルテピアノをステファノ・フィウツツイに師事。国内主要オーケストラとの共演をはじめ、ザルツブルク・モーツァルトテウム管、ハノーファー北ドイツ放送フィル、ベルリン響等と共演。最近ではバレエとのコラボレーション公演にも出演し、CD録音も活発に行う。

前橋市 Presents 舞台芸術祭芸術監督。第1回上毛芸術文化賞（音楽部門）受賞。2007年第17回出光音楽賞受賞。

2023年3月よりウィーン国立音楽大学にて後進の指導に当たる。

菊池洋子オフィシャルホームページ yokokikuchipf.com

菊
池
洋
子
ピ
ア
ノ



©Yuji Hori

日本センチュリー交響楽団 管弦楽 —— 街に響く。心に届く。

1989年に活動を開始し2019年に楽団創立30周年を迎えた大阪府・豊中市を拠点とするオーケストラ。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザー、久石譲が首席客演指揮者を務める。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズと2拠点で定期的な演奏会を開催。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、特別支援学校コンサート、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャル・ホームページ <https://www.jcso.or.jp> (2023年7月リニューアル)



藤井 颯太郎 ストーリーテラー

1995年生まれ。兵庫県立宝塚北高校 演劇科在学中「幻灯劇場」を旗揚げ。18歳の時に書いた戯曲「ミルコメリオ」でせんだい短編戯曲賞を最年少受賞。近年は、架空のホテルに宿泊しながら観劇する「泊まれる演劇」シリーズの演出を手掛けたり、NHK連続テレビ小説「おちょやん」に出演したり、ABCテレビ「THE GREATEST SHOW-NEN」でAえ! groupとコラボし音楽劇を発表するなど、多方面で頑張っている。

関連企画

～シューマンとブラームスの絆～

お話：阪哲朗（指揮者/ビデオ出演）

日本センチュリー交響楽団メンバー
小味 潤彦

主催：豊中市市民ホール等指定管理者

豊中名曲シリーズ Vol.28「ゆるやかな片鱗」のプログラムの魅力を紐解きます。

日時：2023年10月17日（火）19:00開始（18:45開場）

料金（全席自由）：500円

会場：豊中市立文化芸術センター 大ホールホワイエ

※Vol.28公演チケットをご提示の方、25歳以下（年齢のわかる証明提示）無料

※前売り券の販売はありません。会場で直接お支払いください。

※未就学のお子様の入場はご遠慮ください。

チケット発売日 会員先行発売日 2023年8月8日(火)

※先行期間中は、電話・オンラインでの取扱いのみ。

一般発売日 2023年8月9日(水)

豊中市立文化芸術センターチケットオフィスでは、一般発売初日に限り、10:00より窓口・オンラインチケットで受付開始。残席がある場合は、15:00以降電話予約開始。センチュリー・チケットサービスは、10:00より電話・オンラインチケットにて予約受付開始。センチュリー事務局での直接販売はございません。

料金 (全席指定)



	一般	club CaT (豊中市立文化芸術センター友の会) センチュリー個人定期会員	U25 (25歳以下)
S席	4,500円	4,000円	2,000円
A席	3,500円	3,000円	1,500円
B席	2,500円	2,000円	1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※U25は豊中市立文化芸術センターチケットオフィスでのみの取扱い。(要証明)

※車いす席は、豊中市立文化芸術センターチケットオフィス窓口、電話のみの取扱い。

チケットお求め
お問い合わせ

- 豊中市立文化芸術センターチケットオフィス
06-6864-5000 (10:00-19:00 | 月曜 休館)
オンラインチケット → 
- センチュリー・チケットサービス
06-6848-3311 (平日 10:00-18:00)
ネットチケット → 
- チケットぴあ (Pコード Vol.28 : 233-597)



2023年度
センチュリー
豊中名曲
シリーズ

- Vol.26 「新世界の生活」
6月17日(土) 15:00開演 (14:15開場)
指揮：太田弦 ギター：朴葵姫 (新曲委嘱：坂東祐大)
- Vol.27 「変心」
9月16日(土) 15:00開演 (14:15開場)
指揮：延原武春 ヴァイオリン：小栗まち絵
- Vol.28 「ゆるやかな片鱗」
12月9日(土) 15:00開演 (14:15開場)
指揮：阪哲朗 ピアノ：菊池洋子
会員先行発売：8月8日(火) 一般発売：8月9日(水)
- Vol.29 「待ち望んだ突然変異」
2024年3月30日(土) 15:00開演 (14:15開場)
指揮：秋山和慶 ピアノ：亀井聖矢
会員先行発売：12月5日(火) 一般発売：12月6日(水)

club CaT (豊中市立文化芸術センター友の会)

ご案内

- 特典
- チケットの優先購入 (指定公演のみ)
 - チケットの優待価格 (指定公演のみ)
 - 楽しい情報が隔月届く

- 年会費 1,500円 (年度会員)
例：2023年度会員の場合
2023年4月1日(または以降の入会日)～2024年3月末まで

※豊中市立文化芸術センター WEB サイト、郵便振替からでも入会できます。詳しくはチケットオフィス(06-6864-5000)にお問い合わせ下さい。


交通アクセス

阪急宝塚線「曾根」駅下車 東へ約300メートル (徒歩5分)
阪急「大阪梅田」駅より約20分
※駐車スペースは限られております。
ご来館の際には、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ

〒561-0802 大阪府豊中市曾根東町3-7-2
豊中市立文化芸術センター チケットオフィス TEL:06-6864-5000

主催：公益財団法人日本センチュリー交響楽団 / 豊中市市民ホール等指定管理者 / 豊中市 後援：豊中市教育委員会
ビジュアル撮影(豊中市内)：鈴木竜一朗 とよなか音楽月間 2023 参加事業

助成：  文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業 (創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

Special Sponsor



Friendship Partner



Official Sponsor

